

2018年5月23日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

2018年11月、東京ビッグサイトで新規開催

～農作物の鳥獣被害対策とジビエ利活用技術に焦点をあてた専門展示会～

第1回 鳥獣対策・ジビエ利活用展

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2018年11月20日（火）～22日（木）に、東京ビッグサイト（東京都江東区）において「**第1回鳥獣対策・ジビエ利活用展**」を初開催します。

鳥獣対策・ジビエ利活用展とは・・・

野生鳥獣の農作物被害は176億円(2015年度)にのぼり、イノシシおよびシカの捕獲頭数は100万頭を超えています。農作物被害は営農意欲の減退や離農の増加につながり、ひいては農山村地域の衰退を招く大きな問題です。

捕獲鳥獣は多くが廃棄処理されており、ジビエ(獣肉)利用は1割程度（農林水産省統計調査より）にとどまっています。

捕獲を進めるだけでなく、ジビエを地域資源として活用し、地域の振興に役立てる取り組みが始まっています。

農作物被害対策と、捕獲鳥獣のジビエ利活用による地域振興に焦点をあて、本展を開催いたします。

【開催概要】

- ◆名称：第1回「鳥獣対策・ジビエ利活用展」
- ◆公式サイト：<http://www.jma.or.jp/ai/gm>
- ◆会期：2018年11月20日（火）～22日（木）10:00～17:00
- ◆会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール
- ◆主催：一般社団法人日本能率協会
- ◆予定規模：150社／200ブース *同時開催の「アグロ・イノベーション2018」含む
- ◆来場予定者数：12,000名 *同時開催の「アグロ・イノベーション2018」含む

